

所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・講師	
氏名	河野 洋子 (Kawano Yoko)	
取得学位	大分県立大分上野丘高等学校卒業 1982年4月	
SDGs目標	   	<p>リサーチマップ (researchmap) ※上記をクリックしてください</p> 
研究分野	社会福祉学	
研究キーワード	こども家庭福祉、代替養育、里親制度	
研究内容	<p>●大分県の里親委託推進の取り組み</p> <p>2002度末にわずか1.2%だった大分県の里親委託率は、2010度末には、全国第5位の22.7%に伸びた。数字の変化だけでなく、制度に対する関係者の意識や里親支援体制も大きく変わった。大分県の取組を活動報告書としてまとめたもの。(論文1.)。</p> <p>※なお、その後も大分県の里親委託率は上昇し、2022年度末は過去最高の39.4%となり(都道府県順位第5位)全国的にも里親委託先進県として児童福祉関係者に知られている。</p> <p>●こどもの権利条約に沿ったさらなる里親委託の推進、包括的な里親養育支援業務(フォスターリング業務)の円滑な実施、2024年4月に新たに児童福祉施設として位置づけられた「里親支援センター」の第三者評価のあり方などについて、国内の有識者とともに研究している。</p> <p>●関連リンク：<a href="https://waseda-ricsc.jp/">https://waseda-ricsc.jp/</a> <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/000940244.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/000940244.pdf</a></p>	
研究業績・アピールポイント	<p>2024年4月に大分大学に赴任しました。赴任前は大分県職員としてこども・家庭福祉分野を中心に勤務していました。特に直近5年は中津児童相談所長、福祉保健部こども・家庭支援課長、大分県こども・女性相談支援センター長(中央児童相談所長)として、現場と本庁を経験し、現場実践を施策形成に反映してきました。また、福祉現場における安心・安全な職場づくりやマネジメント、人材育成にも力を入れてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士(2010)</li> <li>・こども家庭庁審議会 社会的養育・家庭支援部会委員(2023.4~2025.3予定)</li> </ul> <p>●論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2012年、大分県における里親委託推進の取組について(査読付)</li> </ol> <p>●主な著書</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2022年 おおいたの子ども家庭福祉 明石書店(編著 井上登生、河野洋子、相澤仁)</li> <li>2. 2023年 日本の児童相談所—こども家庭支援の現在・過去・未来— 明石書店(共著)</li> <li>3. 2021年 みんなで育てる家庭養護 シリーズ2「ネットワークにおけるフォスターリング」シリーズ3「アセスメントと養育・家庭復帰プランニング」明石書店(共著)</li> </ol>	